

都 市 建 設 局

リニアまちづくり課 相模原駅周辺まちづくり課

広域交流拠点推進 …… 307



広域交流拠点推進

1 広域交流拠点のまちづくりの推進

本市は、リニア中央新幹線の駅が設置される橋本駅周辺地区と、相模総合補給廠の一部返還地等の土地利用や小田急多摩線の延伸に取り組む相模原駅周辺地区を一体とした「広域交流拠点」の形成に取り組んでいる。

両駅周辺地区それぞれの特性を生かした機能分担のもとで、さらなる商業・業務機能の集積を図り、国内国外を問わず三大都市圏におけるアクセス性の高い立地特性を生かし、首都圏南西部における中心的な地区として周辺都市からの求心性を高めるべく、まちづくりを推進しているところである。

なお、本市をはじめとする首都圏南西部エリアについては、国が策定した首都圏広域地方計画の中で首都圏南西部国際都市群の創出プロジェクトに位置づけられており、首都圏の新しい拠点形成を図ることが記されている。

2 市街地開発事業の調査研究及び事業計画の策定

(1) 橋本駅周辺地区

橋本駅周辺における土地区画整理事業や街路事業に関する検討のほか、今後の土地利用の転換に向けて、「まちの将来像」及び「まちづくりの誘導方針」を示し、市民・企業・関係団体・行政などと共有し、多様な主体との連携・協働による持続的に発展するまちづくりに取り組むことを目的として、令和5年11月に「相模原市リニア駅周辺まちづくりガイドライン」を策定した。

(2) 相模原駅周辺地区

相模原駅北口地区のまちづくりコンセプト「多様な交流が新たな価値をうみだす ライフ×イノベーション シティ」を定め、そのコンセプトを基に、一部返還地に導入する機能等を整理した相模原駅北口地区土地利用方針を策定した。

これを踏まえ、導入施設の配置や規模、道路等の都市基盤などを整理した土地利用計画の策定に向け取り組んでいる。検討にあたっては、脱炭素型のまちづくりに加え、公共施設や周辺道路ネットワークの考え方を整理するとともに、若い世代の意見聴取なども行いながら取組を進めた。

3 リニア中央新幹線の建設促進

リニア中央新幹線は、JR東海により、現在、品川・名古屋間の開業に向けて事業が進められているところであるが、本市では、市内の工事における安全対策等について、関係機関と調整を図ったほか、車両基地が建設される鳥屋地区等、事業に関連する地域と継続的に懇談するなど、事業の促進に向けた取組を行った。

また、JR東海との協定に基づく用地取得等事務について、区分地上権設定のための取組を行った。

【リニアまちづくり課…1、2、3】

【相模原駅周辺まちづくり課…1、2】

